

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1404日経過しました
第5次長期滞在クルーのISS滞在は109日経過しました

ISS動向

第5次長期滞在クルーは引き続きプログレス無人補給船とスペースシャトル・アトランティス号の到着準備を行うとともに、科学実験やISS内のシステムの装置交換などの保守作業を行っています。

プログレス無人補給船は実験装置やISSの高度を維持するための推進剤、ISS滞在のクルーに必要な酸素、衣服、食料などの日用品をISSへ送り届けます。新しいプログレス無人補給船が打ち上げられる前には、ISSに3ヶ月ほどドッキングしていたプログレス無人補給船を生活ゴミなどの不要品を搭載してISSから切り離す作業があります。切り離されたプログレス無人補給船は大気圏に突入して燃え尽きます。



ISSから切り離されたプログレス無人補給船(2002年6月)

これからの予定（米国時間）

- ・9月25日 ソユーズロケットによるプログレス無人補給船の打上げ
(打上げ地:バイコヌル宇宙基地、カザフスタン共和国)
- ・10月2日 スペースシャトル・アトランティス号打上げ(アメリカ):ISSへS1トラスの取付け

“今週の「きぼう」”

「きぼう」運用に向けて運用管制システムの試験

「きぼう」が打ち上げられると、「きぼう」内部の様々なシステム機器や実験装置の監視・制御は筑波宇宙センターの宇宙ステーション運用棟で行われます。現在、宇宙ステーション運用棟の運用管制室では「きぼう」運用に向けて開発中の運用管制システムと「きぼう」を模擬する装置との間で確認試験を行っており、10月中旬まで行う予定です。

また、来年1月には筑波宇宙センターで試験中の「きぼう」本体と運用管制システムを接続した統合システム試験が行われる予定です。試験では、運用管制システムから実際の制御信号を「きぼう」本体に送信し、「きぼう」内部の機器が制御信号に従って正常に動作することを確認するとともに、「きぼう」内部の機器からの監視信号を運用管制システムにおいて正常にモニターできることなどを確認する予定です。これらの試験を正常に終えた後、「きぼう」をアメリカ・フロリダ州ケネディ宇宙センターへ出荷します。



運用管制システム試験の模様

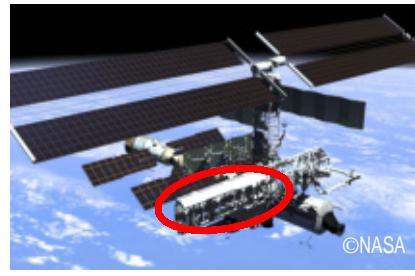
“トピック”

スペースシャトル・アトランティス号、打上げに向けて整備作業進行中

10月2日の打上げに向けて、スペースシャトル・アトランティス号の整備がアメリカ・フロリダ州ケネディ宇宙センター（KSC）の発射場で進められています。シャトルクルーは9月16日～18日にKSCにおいて打上げまでの手順確認や緊急脱出訓練などを行いました。



ケネディ宇宙センターで訓練中のシャトルクルー
(9月17日)



S1トラス(内面)がISSへ取り付け
られた後の予想図



アトランティス号の貨物室に搭載されたS1トラス (KSCにて)

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。